

平成28年度  
第4回 対策地域内廃棄物処理業務等（減容化处理）に係るアドバイザー委員会  
議事要旨

日時：平成29年3月6日（月） 13:30～15:30

場所：TKP 東京駅前カンファレンスセンター 9階 カンファレンスルーム9A

出席委員（敬称略）

公益社団法人 全国都市清掃会議 技術指導部長	荒井 喜久雄
国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長	大迫 政浩
国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 循環資源基盤技術研究所 室長	倉持 秀敏
国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 客員研究員	高田 光康
東北大学 大学院環境科学研究科 研究科長 教授	吉岡 敏明
京都大学 工学研究科 都市環境工学専攻 教授	米田 稔
環境省福島環境再生事務所 調整官（廃棄物担当）	小野寺 秀明
環境省福島環境再生事務所 減容化施設整備課 課長	小島 啓之

議事要旨

I 本日の議事

1. 除染廃棄物の焼却により発生する焼却灰の搬出
2. 主灰の地盤改良用収納容器への封入方法
3. 南相馬市対策地域内廃棄物処理業務（減容化处理）  
主灰の地盤改良用収納容器への封入方法
4. 災害時における防災体制

II 検討内容

1. 除染廃棄物の焼却により発生する焼却灰の搬出  
冒頭、環境省より、内容について説明があった。
2. 主灰の地盤改良用収納容器への封入方法  
冒頭、対策地域内廃棄物等の減容化处理等に係る技術支援業務を受注している（一財）日本環境衛生センター（以降、日環セと記載）より、内容について説明があった。

3. 南相馬市対策地域内廃棄物処理業務（減容化处理） 主灰の地盤改良用収納容器への封入方法

冒頭、JFE・日本国土特定業務共同企業体（以降、JFE・JDV - JV と記載）より、業務内容について説明があった。

(1) 破袋後のフレキシブルコンテナについて

委員より、破袋後のフレキシブルコンテナはどのように処理するのかとの質問があった。JFE・JDV - JV より、汚染検査により汚染がないことを確認した後、仮設焼却施設にて処理するとの回答があった。

(2) 換気について

委員より、室内空気の換気への配慮はどのようにするのかとの質問があった。JFE・JDV - JV より、室内空気はHEPA フィルタ付きの換気設備を通した後に外部へ排出する計画であるとの回答があった。

(3) 作業員の危険作業に対するマニュアルや教育について

委員より、作業員の危険作業に対するマニュアルや教育をどのように考えているのかとの質問があった。JFE・JDV - JV より、マニュアルは作成中であり、教育は作業前の安全教育、設備等の運転教育を行う予定であるとの回答があった。

(4) 電離則への対応について

委員より、電離則への対応をどのように考えているのかとの質問があった。JFE・JDV - JV より、主灰封入設備が設置されている部屋を放射線管理区域とし、電離則に基づく対応を行う予定であるとの回答があった。

4. 災害時の防災体制

冒頭、日環セより、内容について説明があった。

(1) 連絡体制について

委員より、環境省側、事業者側の連絡先を共有し、情報の一元化を図るよう助言があった。

(2) 災害時を想定した訓練について

委員より、防災体制を改めて構築した後に定期的な訓練を行う必要があるとの助言があった。

(3) 連絡体制網の掲示について

委員より、仮設焼却施設内の要所に連絡体制網が掲示されているのかとの質問があった。

環境省より、掲示されているとの回答があった。

(4) 今後の対応について

委員より、災害時の統一的な対応基準を定めた後にどのように活用するのかとの質問があった。環境省より、本日も検討いただいた結果を踏まえた上で、それに基づき各事業者  
に改めて防災体制を構築するよう指示し、また定期的な災害時を想定した訓練を行うとの  
回答があった。

以上